



とちぎ国際交流

第 17 号

1992年(平成4年)1月号
編集発行
(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951



壬生町・厄除節分祭（とちぎのまつり百選より）

2月3日、壬生町の壬生寺で開催される「厄除節分祭」は、大正3年に本堂を建立したときに行い、現在に至っています。

この日は、1日3回大護摩をたき、信者の厄除開運や室内安全を祈願し、年男約1,000人が豆まきやお宝まきを行います。

境内には露店をはじめ町内の特産品を売る店が多数出て、終日にぎわいます。

Yakuyoke Setsubunsai (Demon-exorcise bean-throwing Festival)

“Yakuyoke Setsubunsai” (Demon-exorcise bean-throwing Festival) will be held at Mibu Temple on February 3rd, 1992. This festival was started when the main hall of the temple was built in 1914 (3rd year of Taisho era).

*Goma (holy fire) ritual will be observed three times that day to pray for adherents' good

luck, security and exorcism. About a thousand Toshiotoko throw small gifts as well as beans.

Many stalls and local special products selling booths stand at the precinct and are crowded with people all the day.

Place : Mibu Temple in Mibu town

Transportation : 20min. walk from Mibu station (Tobu Utsunomiya Line)

* Goma ritual : Goma wood (fuel) is thrown into a furnace which is set on the altar to burn.

今号の主な内容

- ★理事長 新年のごあいさつ p 2
- ★特集「留学生・お国のお正月を語る」 p 3
- ★平成3年度青少年国際交流員紹介 p 6
- ★お正月国際交流の集い案内 p 8

新年のごあいさつ



財団法人栃木県国際交流協会
理事長 推津 弘之

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく御指導と御力添えをお願い申し上げます。

さて、協会も設立以来満3年が過ぎ4年目に入っています。地域国際化協会として、既に自治大臣からも認定を受け、多くの関係機関や団体の皆様方の心温まる御協力のもとに、いろいろな事

業等を展開しております。昨年は、茨城県と群馬県にも立派な地域国際化協会が設立されました。そして、3県の連絡協議会も設置され、現在活発な情報交換や交流事業等について具体的な討議を続いているところです。

また、中央に設置されている自治体国際化協会等とのネットワークづくりも充実強化し、名実共に立派な栃木県国際交流協会として、地域国際交流の中核体になるよう更に努力し大いなる飛翔を目指しております。

ある雑誌に、「今日本の、日本人の最大の課題は、友達を増やし、友達の国を増やすことだ。自分一人我が道をゆく、そんな生きかたは過去のものとなつた。お互いにそれを認め合い、仲良く結び合ひ、ともに生き合っていかなければならない。そうした国際感覚を身につけている人だけが、未来を開いていくのだ」という記事を目にいたしました。これは、これから国際交流を進めていく場合に大切なことです。

今年もお互いに自重自愛頑張ってまいりましょう。改めて、御協力等をお願い申し上げます。

NEW YEAR GREETINGS

I would like to extend my best wishes for a successful and happy New Year to all of you. It is also my sincere hope that you will continue to support us as much this year as is the past.

This is only the fourth year since the Tochigi International Association was established, but we have already been recognized by the Minister of Home Affairs as one of the Associations which promotes internationalization. Through your co-operation, we have developed many various projects and activities.

Last year, International Associations were also established in both Gunma and Ibaraki prefectures and consequently a three prefecture Council Meeting was created to facilitate the exchange of information and discuss future projects.

We are also making an effort to become the nucleus of international exchanges at the local

level, while at the same time strengthening our connections with the Council of Local Authorities for International Relations (CLAIR).

I once saw a magazine article which said, "The most important thing for Japanese is to make more friends abroad. The idea of standing alone is out of date. Now, we have to accept each other, and develop deeper and more meaningful friendships. Consequently, only internationally-minded people can open up the future."

I believe that this idea is very important for promoting internationalism, and I would like to continue our efforts toward that goal by working hand in hand with you all. Once again I look forward to your co-operation and assistance. Wishing you good health, good fortune and a Happy New Year.

推津弘之

Hiroyuki Suitsu,Chairman
Tochigi International Association

！新春インタビュー！ 留学生・お国のお正月を語る

日本以外のアジアの国々のお正月とは一体どうなのだろう…？という疑問から、今回の特集は「留学生お国のお正月を語る」と銘打って、アジア各国から来ている留学生、林玉清さん(中国)、ハッサン・マブーさん(バングラデシュ)、金錫井さん(韓国)、リリク・プジャントロさん(インドネシア)の4名にインタビューしました。

(以下敬称略)



▲左からリリクさん、金さん、林さん、ハッサン
さんの各留学生

お正月のことを“春節”と呼びます

——皆さん、明けましておめでとうございます。今日はお集まりいただきありがとうございます。早速ですが、みなさんは日本のお正月を体験したことありますか？

林玉清 TIAが開催している「お正月国際交流の集い」に参加したりしたので、どんな行事があるかは大体知っています。

リリク・プジャントロ(以下リリク) 私も同じです。

ハッサン・マブー(以下ハッサン) 私は日本に来てまだ1年ですのでよくわかりません。

金錫井 おせち料理をごちそうになつたり、私の子供がお年玉をもらつたりしたことがあります。でも、お正月の時期にホームステイなどをして実際に日本の家庭に入らないと、本当のお正月はわからないのではないのでしょうか。

——そうですね。特に都会よりは田舎の方がより日本的なお正月を味わえるでしょう。それでは、

本日のテーマであります「お国のお正月」についてお話し下さい。

林玉清 中国では旧暦を使用していますので、日本の暦では1月末～2月初め頃ですね。今年は確か2月4日が元旦だと思います。

お正月はとても重要な祝日で、年が変わり気候が暖かくなるという意味で“春節”といいます。お寺に初詣に行ったり、新年のあいさつまわりもします。それに年賀状のようなものもあり、友人やお世話になった人に出します。ちょっと凝ったハガキなんですよ。

また伝統的に、新年になると派手に爆竹を鳴らすのも祝い方のひとつです。

ハッサン ベンガリ暦(バングラデシュの暦)の新年は、日本では3月の初め頃です。サッカーやボートなど、スポーツをして祝うことが多いですね。それに友達の家に遊びに行き、ごちそうを食べます。また、女性はシャリーを着てオシャレをします。

この時期は、台風や洪水など天災が多く、「悪い

1月 (カルバイ・シャキ)」と呼んでいます。

それに、ベンガリ暦では、新年になる前の2月は、28日ではなく32日まであります。この月は、婿を娘の実家に呼んで祝うのが習慣で、長く滞在してもらうよう日を延ばすのです。

——それはおもしろいですね。それでは韓國のお正月はどうですか？

金錫井 私の国でも中国と同じように、95%以上が旧暦を使っていますので、日本の2月上旬です。正月3日前に仕事が終わり、70%の人が帰省などで移動し大混雑となります。日本よりもすごいですよ(笑)。休みは7~10日間ですね。

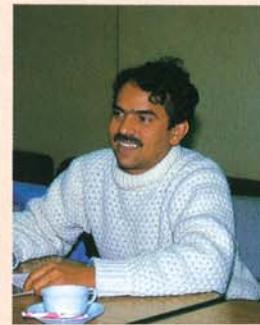
韓國のお正月は、祭祀（先祖に対する供養）を中心で、年始のあいさつまわり、お墓参り、その後は正月遊びとして凧上げ、太鼓たたき（近所をめぐる）、綱引き、すもうなどをします。

リリク インドネシアでは、イスラム系の人口が80%を占めています。バングラデシュと同じように日本の3月初め頃がお正月です。このイスラム暦の元旦はIDUL FITRIと言います。

お正月には、モスクで祈った後、お墓参り、親戚へのあいさつまわりをします。遊んで祝うというより、精神的な面を祝います。例えば、街を行列をつくってイスラムの祈りを唱えながら練り歩きます。

私はカトリックですので1月1日を祝いますが、紙で作ったトランペットをみんなで吹いて、

プロフィール



ハッサン・マブーさん

▶出身

バングラデシュ

▶学部

宇都宮大学大学院

農学研究科研究生

農業水利学研究室

1年

▶滞在年数 1年

音で祝ったりします。

——それぞれの国でそれぞれのお正月の過ごし方があるわけですね。

国旗の色に合わせた料理を食べます

——では、次に、お正月に食べる料理についてお聞きします。

ハッサン 米、鳥肉、牛肉、大きい魚、めんを混ぜた料理“Semai”や果物を食べます。それに、祝日用の“Khichuri”という、米と豆とスパイスで作る料理もやはり食べます。これは、インドでも有名な料理です。

金錫井 先程お話ししましたように、韓国では祭祀がメインなので、この祭祀用の料理を食べます。種類にして60から100あります。

——随分たくさんありますね。

金錫井 はい。その上、量も多いんです。それと雑煮は必ず食べます。

リリク 代表的な正月料理としては、インドネシアの国旗の色である赤と白にかけて、白米と赤砂糖を使用したブル・メラ・プティという“おかゆ”があります。

——国旗の色に合わせるとはステキですね。では中国では？

林玉清 昔から、物が乏しいときでも、お正月に

プロフィール



林玉清さん

▶出身

中国・浙江省

▶学部

宇都宮大学東京農工大学大学院連合農学研究科生物生産学専攻
博士課程3年

▶滞在年数 9年

はおいしいものを食べると言われています。

お正月の前の大晦日の夜ですが、みんな一緒に食べる3つの料理があります。まず“団円飯”、というおだんごで、湯団子（あん入り）と円子（あんなし）の2つのだんごの“団”と“円”という文字を取った食べ物です。そして、普通の米から作るおもちで、子供に食べさせ、成長するよう祈ります。最後は魚料理で、これは中国語の“魚”と“余”的文字の発音が同じことから、「食べても余るほど食物が豊富」という縁起をかついで食べるので。このとき、魚を全部食べず、少し残すようにします。

——なるほど言葉遊びが含まれているんですね。

プロフィール



リリク・ピジャント
口さん
▶出身
インドネシア
▶学部
宇都宮大学大学院
農学研究科農業開
発工学専攻 2年
▶滞在年数 2年

フェアーで見つけたかわいい女性

——では、最後に、お正月に関する思い出などがあったら何かお聞かせ下さい。

プロフィール



金錫井さん
▶出身
韓国
▶学部
宇都宮大学東京農
工大学大学院連合
農学研究科生物生
産学専攻
博士課程 2年
▶滞在年数 2年

リリク 私が子供のときは、すごい音が出る花火のようなものを作つてよく遊びました。

金錫井 韓國のお正月は、全体的に儒教的な考え方方が強く、厳肅に行うのであまり楽しい思い出はありませんが、子供の頃新しい服（民族服）を着て、お年玉をもらいに行ったことなどが今も思い出に残っています。

ハッサン 新年になるとフェアー（市）があります。そこに、女性が同じ黄色のシャリーを着て集まるんですが、ある時とてもかわいい女性を見つめたんです。…今の私のワifです（笑）。

——それはそれはいい思い出でしょうね（笑）。
それでは、今日は皆さんの国のお正月を聞かせていただきありがとうございました。

インタビューを終えて、今まで知らなかった他の国々のお正月が、ほんの少し見えてきたように思います。読者の皆さんいかがですか？

セレモニーホール

センチュリー

へいあん



宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)

TEL 0286-48-1122

フリーダイヤル 0120-48-1165

こちら国際交流最前线

財団法人あしぎん国際交流財団

当財団は、足利銀行の創業90周年を記念し、地域社会における国際交流の円滑化をはかり、わが国、特に栃木県を中心とする北関東の国際化に寄与することを目的として設立されました。

主な活動内容は以下の通りです。

- ①外国人留学生に対する研究奨学金の助成
- ②外国人農業研修生への研修費の助成
- ③国際交流関係ボランティア団体への支援・助成
- ④留学生への住居あっせん
- ⑤外国人スピーチコンテストへの支援
- ⑥チャリティーコンサートへの協賛
- ⑦国際交流イベントへの参加

今後の活動としては、海外の文化・社会および

経済等の情報収集ならびにその紹介、普及、外国人受入体制整備のための事業やその助成などを予定しています。



▲向江理事長から助成金を受けとる中国からの留学生・何水芳さん

トピックスI

平成4年度青少年国際交流員として、宇都高の今井麻希子さんが今年8月アメリカに出発！



地域の将来を担う青少年を海外に留学させ、生活体験を通して、これから地域レベルの国際交流を推進させようとする「青少年国際交流員海外留学派遣事業」(YFU日本協会他主催)で、平成4年度青少年国際交流員として、宇都宮女子高校2年の今井麻希子さん(写真)が選ばれました。

今井さんは同校の“国際文化交流部”で留学生と

交流したり、英会話講座等で国際感覚を身につけ、自分も実際海外で異文化を体験したいと思い、この青少年国際交流員に応募したとのことです。

「留学先はアメリカで、ホームステイになりますが、自分から積極的に話して早く親しくなりたいです。また、この留学で視野を広げ、生活習慣の違いを学び、異なる生活環境で育った人に思いやりがもてるようになりたいです」と早くも留学への意気込みを見せてくれました。

今井さんは、今年の8月にアメリカに出発し、来年の6月に帰国します。



宇都宮↔成田空港

直通高速バス マロニエ号

空港ターミナル4F出発ロビーに直行！ 毎日4往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば発 ▶ 5:20 8:30 12:00 14:00

▶成田空港1F到着ロビー京成カウンター前6番のりば発 ▶ 8:05 15:30 17:00 19:40

ご予約・お問合せ **☎0286-38-1730** または関東バス各営業所へ

関東バス

トピックスII

中学校での国際交流活動を描いた作文が、「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」で文部大臣賞受賞！

去る10月末、「第31回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」(日本国際連合協会・日本ユネスコ協会主催)が開催され、栃木県大会から推薦した市貝中学校3年の大畠美優紀さんが、「フォスター・プラン活動を通じて」という題で、特賞(文部大臣賞)に輝きました。

「フォスター・プラン」というのは、恵まれない国の子供たちへの援助活動ことで、月々全校生徒から募金された5千円を学費として送り、その子(フォスター・チャイルド)が自立できるまで援助します。

「私がこうした活動に興味を持ったのは、テレビで、発展途上国への日本の援助活動や青年海外協力隊のことを知ってからです。このフォスター・プランは、フォスター・チャイルドからの手紙を通して、自分たちの活動の結果を直接知ることができます」と話す大

畠さん。“国際交流委員会”的委員長を務め、日々、国際交流活動に目を向けています。

将来どのような活動をしたいかという質問に、「青年海外協力隊員になって、自分自身の手で実際に援助活動をしたい」と熱く語ってくれました。

その他、金賞に矢板中学校1年の星野洋さんが入賞しました。

また、国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール県大会も行われました。入賞者は次のとおりです。▶最優秀賞=磯さくら(宇都宮大付高3年)▶優秀賞=大橋有美子(宇都宮大付高2年)、磯真介(宇都宮2年)▶努力賞=多村和博(宇都宮2年)、斎藤忍(佐野女高2年)、斎藤有紀子(宇都宮大付高2年)▶特別賞=宇都宮女子高校(敬称略)



▲文部大臣賞を受賞した
大畠美優紀さん

国際交流Q&A

[不法就労者雇用の罰則について]

Q. 不法就労者を雇つた場合はどんな罰則を受けるのですか？

A. 雇用主が自己の事業活動に関して、我が国へ不法入国した外国人など正規の在留資格を持たない外国人や正規の在留資格を持っていても、その資格で認められた以外の活動を無許可で行って就労している等の外国人を就労させると、3年以下の懲役又は200万円以下の罰金をかけられます。なお、懲役と罰金を両方かけられるときもありますし、事業活動をしている法人についても罰金がかけられることがあります。また、前述の要件に該当しない場合でも、外国人の出入国管理法及び難民認定法違反を知りながら、宿舎の提供や入国費用の負担等によって入国或は不法就労の手助けをすると、その違反の共犯者として処罰されることがあります。

協会日誌 1991.12.1～1992.1.31

- 12/1～12/11 地域国際化協会職員海外研修
(シンガポール共和国、マレーシア、オーストラリア)
- 12/1 国際連合公用語・英語検定第2次試験
(コンセーレ)
- 12/4 海外技術研修員県内企業視察
(上三川町：日産自動車栃木工場)
- 12/5～12/11 中国の地域づくりリーダーとの交流を通じたふるさと創生事業招へい者来県
- 12/16 “お正月国際交流の集い”打合せ会議
(自治会館)
- 12/25 市町国際交流協会連絡会議
(自治会館)
- 1/11 お正月国際交流の集い(ニューミクラ)

みんな集まれ！お正月を生体験!!今年もやります『お正月国際交流の集いIII』

今年度で第3回目を迎える「お正月国際交流の集い」。様々なお正月行事を体験して、楽しく国際交流しましょう。

- ▶日時=平成4年1月11日(土)午後1時~4時
- ▶場所=ニューみくら (TIAの北側、徒歩1分)
- ▶参加費=無料
- ▶内容=餅つき(実演と体験)、着付け(記念写真をプレゼント!)、書き初め、日本の伝統遊び(カルタ、折り紙等)、茶の湯、箏演奏、生け花、外国人によるパフォーマンス・文化紹介など。

※詳しくはTIA (☎0286-21-0777)までどうぞ。

~~THE NEW YEAR PARTY~~

O-Shogatsu (the New Year) is the most important annual celebration in Japan.

You can experience and enjoy the Japanese New Year season's events at this party.

Please come and join us on this happy occasion!

Date : Saturday, January 11, 1992.

from 1:00 p.m. to 4:00 p.m.

Place : New-Mikura (near the TIA office and the Kencho)

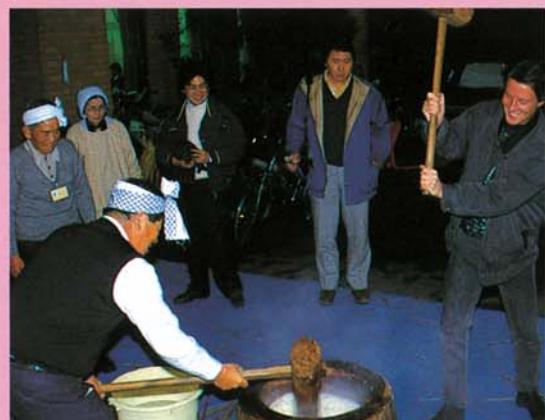
Entrance fee : FREE

Attractions :

Rice cake pounding/ Try on a Kimono (traditional Japanese costume) / Calligraphy/

Traditional Japanese games, e.g. Karuta, Origami/ Tea ceremony/ Koto (Japanese harp) concert/ Flower arrangement/ Introducing other country's culture/

For further information, call the Tochigi International Association at (0286)21-0777.



▲昨年開催した「お正月国際交流の集い」の一コマ

編集後記

「とちぎ国際交流」をご愛読して下さる読者の皆さん、明けましておめでとうございます。今年も一年、どうぞ飽きずにお付き合い下さい。

さて、今回の特集はいかがでしたでしょうか？お正月は日本だけじゃないんですね。できれば、ぜひその国へ行って、実際にお正月を体験したいですね。

ちなみに、インドネシアの代表的な正月料理で、国旗の色に合わせた“ブル・メラ・ブティ”は、日本の国旗の色も赤と白で同じですので、日本人にもピッタリ！ではないでしょうか…ネ。

●ご案内図



※財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さいるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。